

# ニッポンの食を作る 新たな計画、ついに始動!

## ニッポンのチカラ弁当 /

農林水産省の施策を活用して作られた  
国産農産物がいっぱい詰まっています!

文/城田晃久(フリート)

イラスト/古藤野梓

撮影/三輪友紀

### 次世代 施設園芸で栽培した トマト

木質バイオマス(※注)等の  
地域エネルギーと、先端技術  
を活用した「次世代施設園  
芸」で栽培。生産の高度化、  
コスト低減、地域雇用の創出  
を実現しています。

### 国産飼料を 与えて生産された 鶏卵

国内の休耕田で飼料用米を  
生産。鶏のエサとして利用す  
ることで、飼料の自給率向  
上、地元の農業活性化に貢  
献しています。

### 米

日本人の主食である米は、食  
料自給率が100%に近い数少  
ない品目の一つ。需要に応じ  
た生産体制の確保に、今後  
一層力を入れていきます。

### 東日本大震災 被災地で生産された いちご

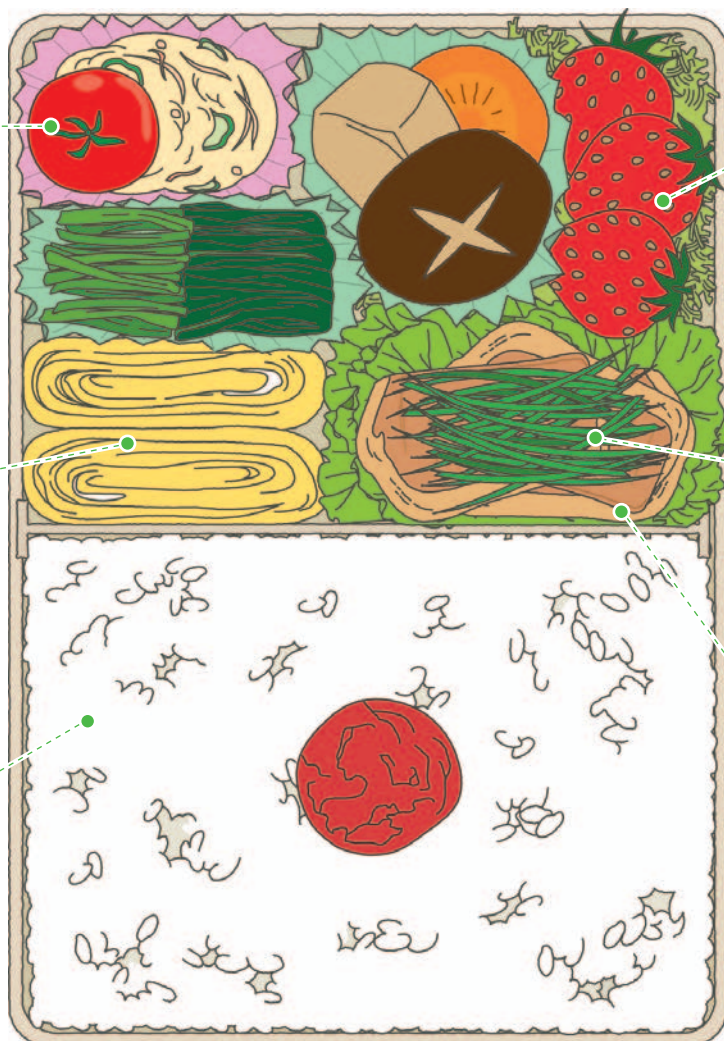
東日本大震災による津波で、  
いちご栽培ハウスも失われま  
した。国の復興交付金等を活  
用して、最新のいちご団地を  
建設。本格的な出荷が再開  
されました。

### 医福食農連携で 生産された 芽ねぎ

障害者・高齢者を含むさま  
ざまな人が農業に従事。「医  
福食農連携」により、農産物  
の栽培に取り組む例が拡大し  
ています。

### 国産飼料を 与えて生産された 豚肉

輸入とうもろこし等に頼ら  
ず、休耕田で生産された飼  
料用米で豚を飼育。食料自  
給率・食料自給力の維持向  
上、「耕畜連携」の強化にも  
つながっています。



※注: 建築廃材や林地残材など、木材からなる再生可能な生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)。

## 5年に一度見直す、農政の羅針盤!

「食料・農業・農村基本計画」とは、平成11年制定の「食料・農業・農村基本法」に基づいて策定された、農政の中長期ビジョン。情勢の変化などを踏まえて、約5年ごとに変更されます。今年3月に、新たな基本計画が閣議決定されました。次ページからは、新たに示した「食料自給力指標」を中心に、ご紹介していきます!

# 「食料を産み出すチカラ」を、 私たちがお教えします！

まずは、新しい基本計画のポイントとなる「食料自給率」と「食料自給力」をピックアップ。  
農水ガールズの2人が、分かりやすく解説します。

## 1 食料を産み出すチカラって どうやって分かるの？

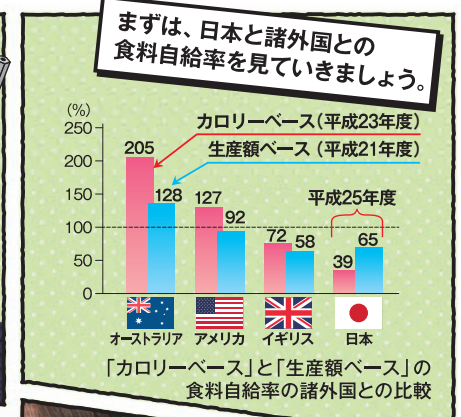


私たちの食卓に並ぶ食料のうち、国内生産でどれだけを賄うことができるのか。これが、食料を産み出すチカラです。その指標となっているのが、皆さんもよくご存じの「食料自給率」。残念ながら、日本の食料自給率は減少傾向で、先進国の中でも最低水準にあります。カロリーベースで見ると、平成9年以降は40%前後で推移しており、品目別では大豆が現在7%、小麦が12%と、そのほとんどを輸入に頼っています。豊かな食に恵まれた日本にいて、食料の供給状況を意識することはあまりないかもしれませんが、しかし実際の数字を目の当たりにして、不安を覚えた方も多いのではないのでしょうか。

## 2 食料自給力って どういうもの？



実は、食料自給率には潜在的な生産能力が反映されないという限界がありました。そこで今回の基本計画では、新たに「食料自給力指標」というものを設けることにしました。これは、花き等が栽培されている農地など、潜在的な生産能力を評価する指標で、図1の通り、①～④の4つのパターンで試算しています。日本の持つ生産能力をフル活用して食料のみを最大限生産すれば、今以上の食料供給が可能です。食料の安定供給を推進していくためには、日本の農林水産業のポテンシャルを、正しく評価しておくことが大切なのです。



【食料自給力指標】とは  
潜在的な生産能力を評価の対象とし、日本の農林水産業がどれだけのポテンシャルを持っているのかを測る指標です。

でもこれは、ニッポンの食料を作るチカラの「ある一面」を見ているにすぎません。  
もっともっとそのチカラを多面的に見るための指標を新たに作りました。それが「食料自給力指標」

要するに食料自給力って「輸入がストップした時でもこれだけ食料を作れます」というもの？  
違います!!

食料自給力指標は、日本の農林水産業の「底力」を見るための指標です。  
大胆な前提を置いて計算しているので「いざという時」のものではないのです。

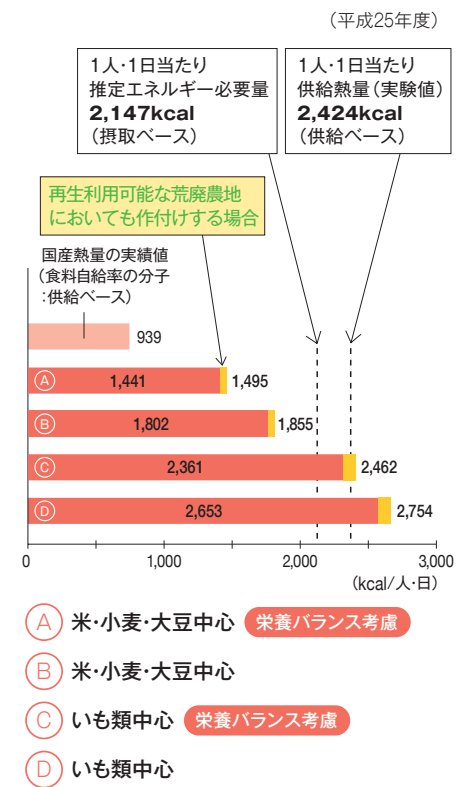
日本の農地をフル活用して  
例えば…  
おいもを作ってみる、穀物を作ってみる、栄養バランスを考えて作ってみる……  
うん  
うん  
なるほど  
なるほど  
いろいろなパターンでシミュレーションしてみると、眠っているニッポンの「食料を産み出すチカラ」がだんだん見えてきます!

## 4 新しい指標が 目指すものは？



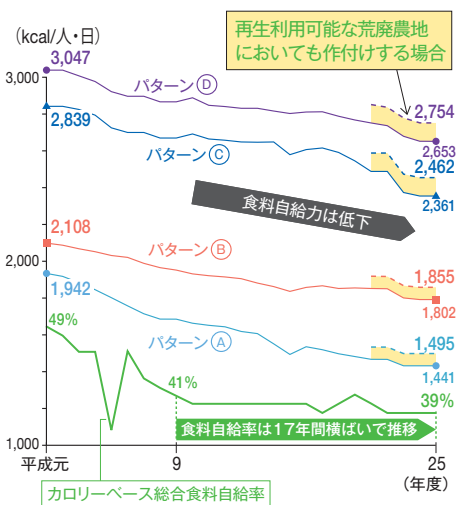
食料自給力指標を導入するいちばんの目的は、日本の潜在的な生産能力を正しく評価した上で、食料安全保障に関する国民的な議論を深めていくことにあります。その上で、消費者の皆さまには国産農林水産物の積極的な消費拡大を、生産者の皆さまには農地や農業技術のフル活用などを、国から働きかけていきます。そうしたことを通じて、日本の農林水産業が抱えている課題に対してアプローチし、食料自給率・食料自給力の維持向上と、食料の安定供給の確保を推し進めていきたいと考えています。

### 図1 食料自給力指標の姿



現実の食生活とは大きく異なるいも類中心型では推定エネルギー必要量等に達するものの、より現実に近い米・小麦・大豆中心型ではこれらを大幅に下回る結果となっています。

### 図2 食料自給力指標の推移



食料自給率が平成9年度以降17年間40%前後(横ばい)で推移している中、食料自給力(我が国の食料の潜在生産能力)は近年低下傾向にあり、将来の食料供給能力の低下が危惧される状況にあります。

資料:農林水産省作成



皆さん  
はじめて。私  
たちは  
「農水ガールズ」  
と申します。

大臣官房政策課  
計画グループ  
塩田知恵子(左)  
那須祐子(右)  
食料・農業・農村基本  
計画に係る業務を担当